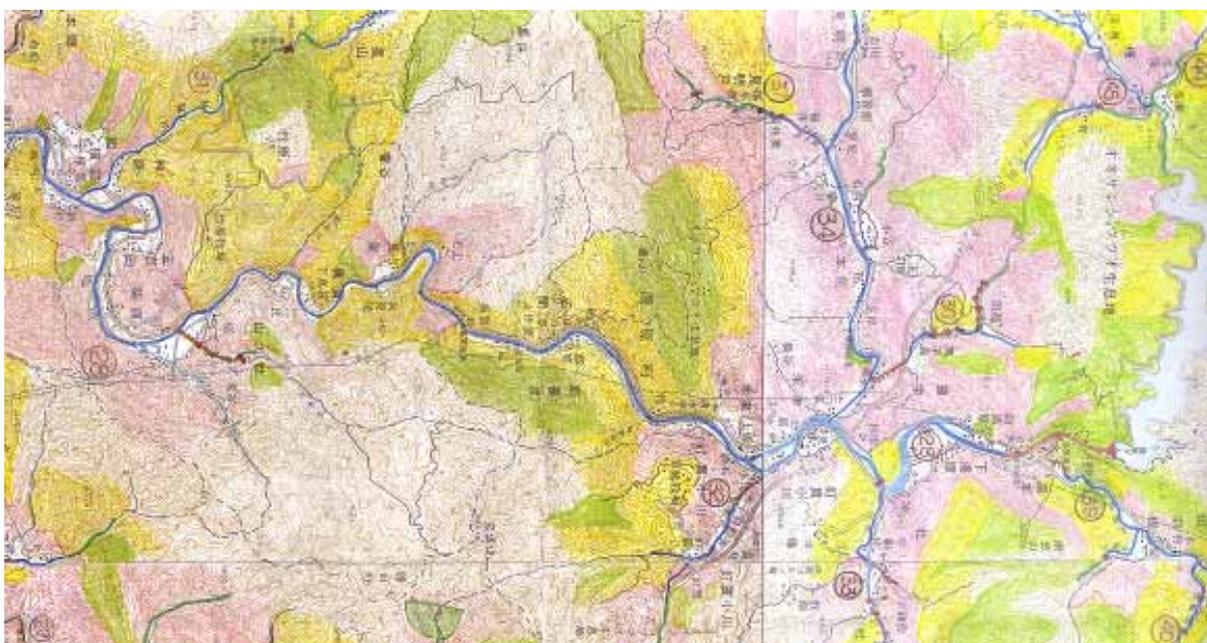
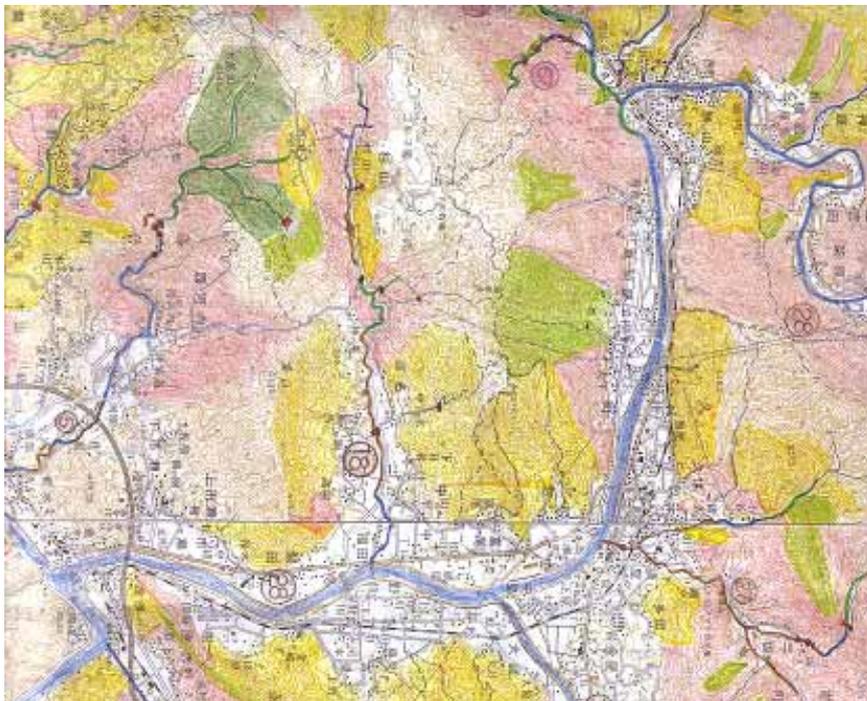


28. 旭川下流域 (落合~湯原ダム)

落合町垂水から湯原ダムまでの延長 31 k m 区間である。



旭 川	河 道 状 況 (%) (延長 31,000m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他	
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工			
	0	100 31,000m	0	0	2	0	片岩類 花崗岩	植林・混交林、風 倒木多く一部崩壊	
下 流 域	水質・川の浄化能力 等		水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息	
	土砂流出し易く石 に泥付着す、一部に 泡あり浄化能力は 低い		ハヤ・ウグイ・鮎・鯉・ フナ・ヒラメ・カジ カ・山椒魚など、魚影 は薄い		植林による山地荒廃と水質劣 化により魚種減少とのこと、護 岸工事により単調な流れとな る。鮎も減った		B		

- ・ 河床は礫・砂の分布する礫川原である。
- ・ 堰は魚道を有しており、魚の移動は可能である。
- ・ 湯原ダムと下湯原の中電堰堤 (h = 1 0 m) の 2 箇所魚の移動は不可能である。
- ・ 水質は若干の濁りと泡を有したところがあり、石に泥が付着しており清水とはいえないが、鮎・カジカ・大山椒魚などが生息する。
- ・ 河川は護岸整備が進み、自然河道はほとんど無く、単調な流れである。
- ・ 流域の植林と斜面崩壊により、降雨時には土砂流出が多く、濁りやすい河川である。

29. 福谷川

勝山町江川で旭川へ注ぐ、延長 2,5 km の支川である

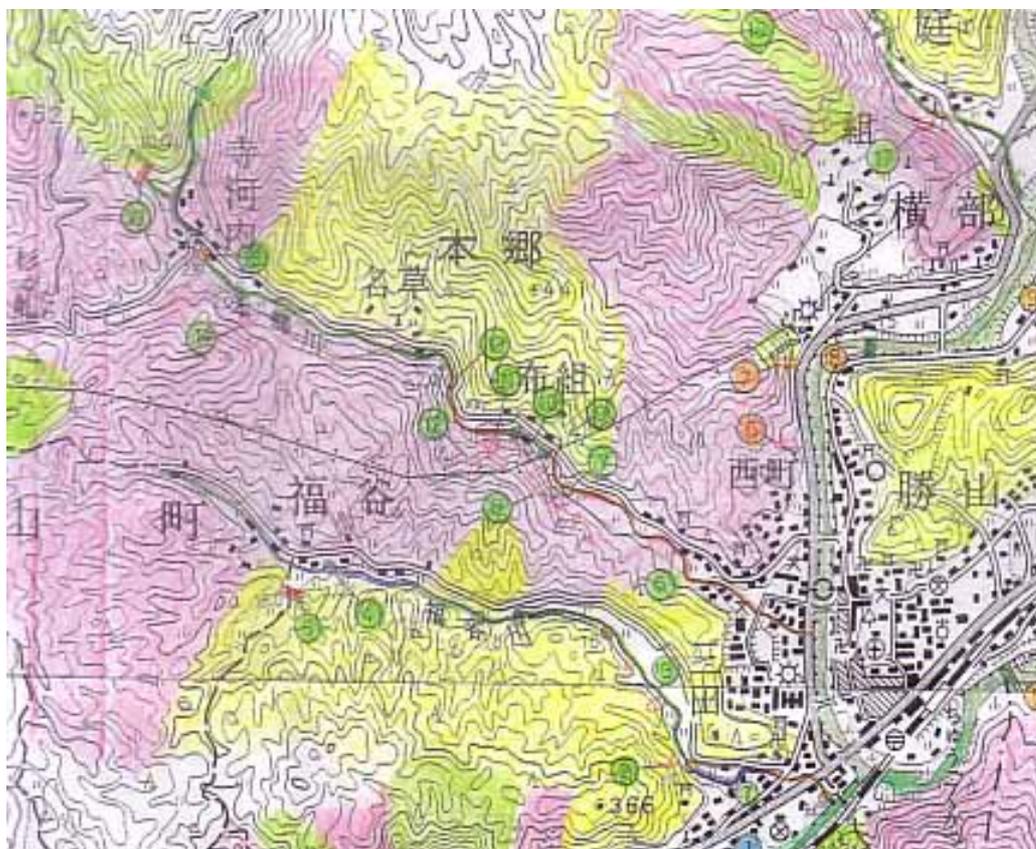


福 谷	河 道 状 況 (%) (延長 2,500m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	0	48 1,200m	12 300m	40 1,000m	1	0	片岩類	植林 50%、混交 林 50%崩壊あり
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コ メ ン ト			魚の生 息環境	山椒魚 の生息
川	護岸と三面張りで固められ 崩壊による土砂が流出する		ハヤ生息	下流に崩壊多、植林多く土砂 流出し易い。護岸工事でハヤ のみ生息			C	×

- ・ 三面張り・護岸工により水草は少なく、河川環境は劣る。
- ・ 植林地が広く、風倒木地の崩壊もあり、土砂流出が多く河床は堆砂・流砂により、魚の生息環境は悪い。
- ・ 魚は小さなハヤが生息するのみ。
- ・ 本郷川上流域は自然流と思われるが、小谷で流水は少ない。
- ・ 支谷に砂防ダムあり。

30. 本郷川

勝山町西町で旭川へ注ぐ、延長3kmの支川である

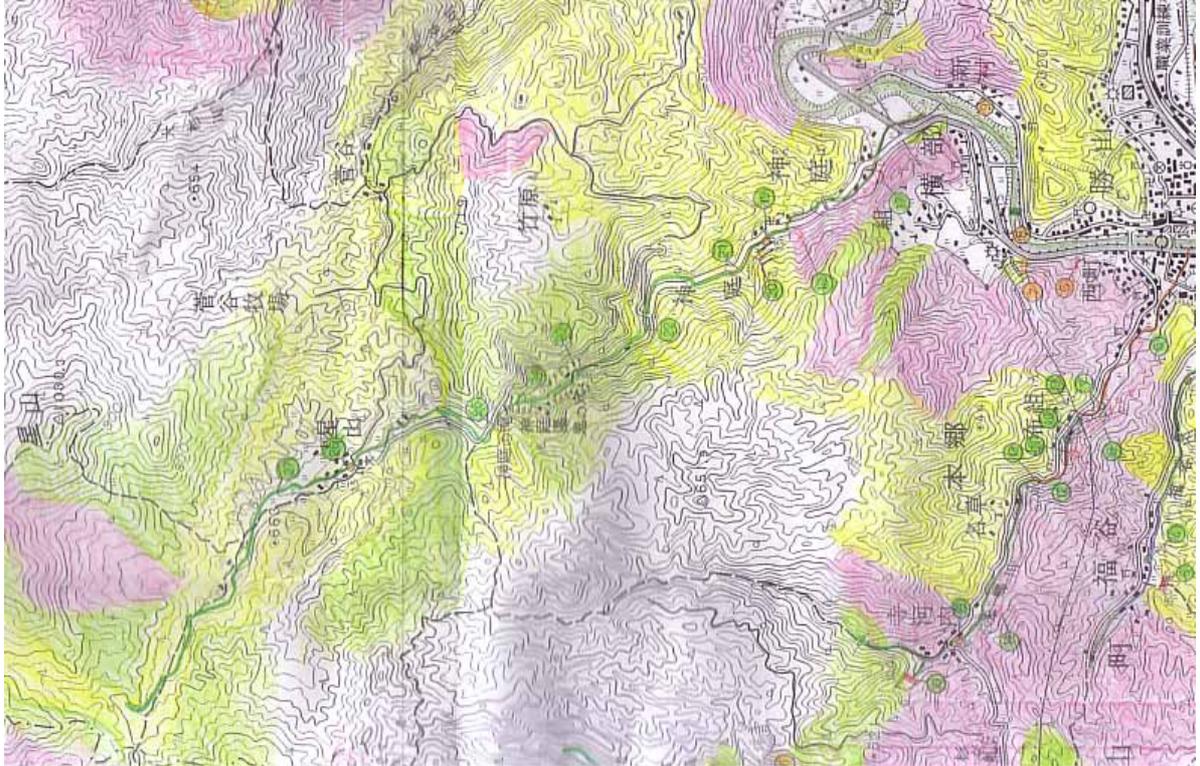


本郷川	河道状況 (%) (延長 3,000m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	0	43 1,300m	57 1,700m	0	1	0	片岩類	植林50%、混交林50%、崩壊多
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント			魚の生息環境	山椒魚の生息
	護岸で固められ、水草少なく、浄化能力は低い		ハヤ少々のみ	河川改修と植林、斜面崩壊により河川環境は劣る			C	×

- ・ 三面張り・護岸工により水草は少なく、河川環境は劣る。
- ・ 植林地が広く、風倒木地の崩壊もあり、土砂流出が多く河床は堆砂・流砂により、魚の生息環境は悪い。魚は小さなハヤが生息するのみ。
- ・ 本郷川上流域は自然流と思われるが、小谷で流水は少ない。
- ・ 支谷に砂防ダムあり。

31. 神庭川

勝山町神庭で旭川へ注ぐ、延長 6 km の支川である

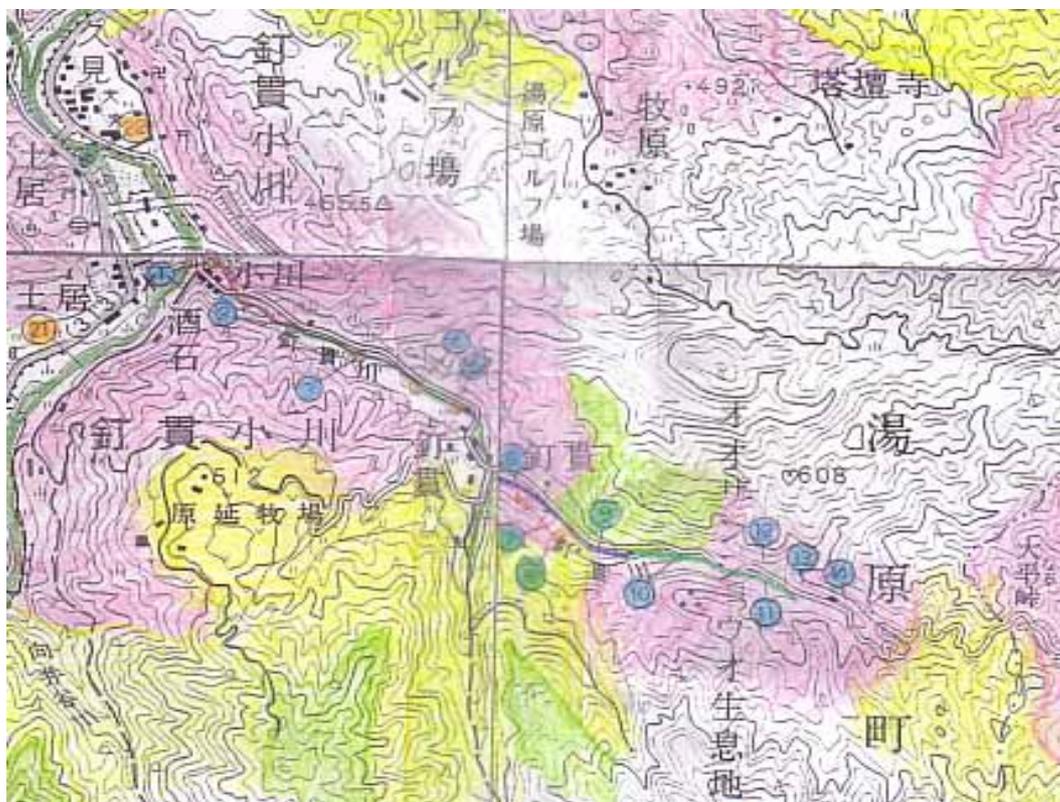


神	河 道 状 況 (%) (延長 6,000m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流域の植生 ・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
庭	58 3,500m	42 2,500m	0	0	滝 1	0	片岩類 花崗岩	植林 10%混交 林 60%自然林 30%崩壊少々
川	水質・川の浄化能力等		水中生物	コ メ ン ト			魚の生 息環境	山椒魚 の生息
	植林地は少なく清水が流れる、岩・礫川で水草は少ない		大山椒魚 生息	地形急峻で人家少なく未開発地のため自然が残る			A	

- ・ 下流域は護岸整備、中～上流域は大部分が自然状態の流れである。
- ・ 自然林と混交林で占められ、自然の多く残った水系である。
- ・ 清流と溪谷を主体とし、大山椒魚が生息し、人の立ち入りは難しい地形である。
- ・ 人家・田畑も少なく、自然の残った水系である。

32. 釘貫川

湯原町小川で旭川へ注ぐ、延長 2,5 km の支川である

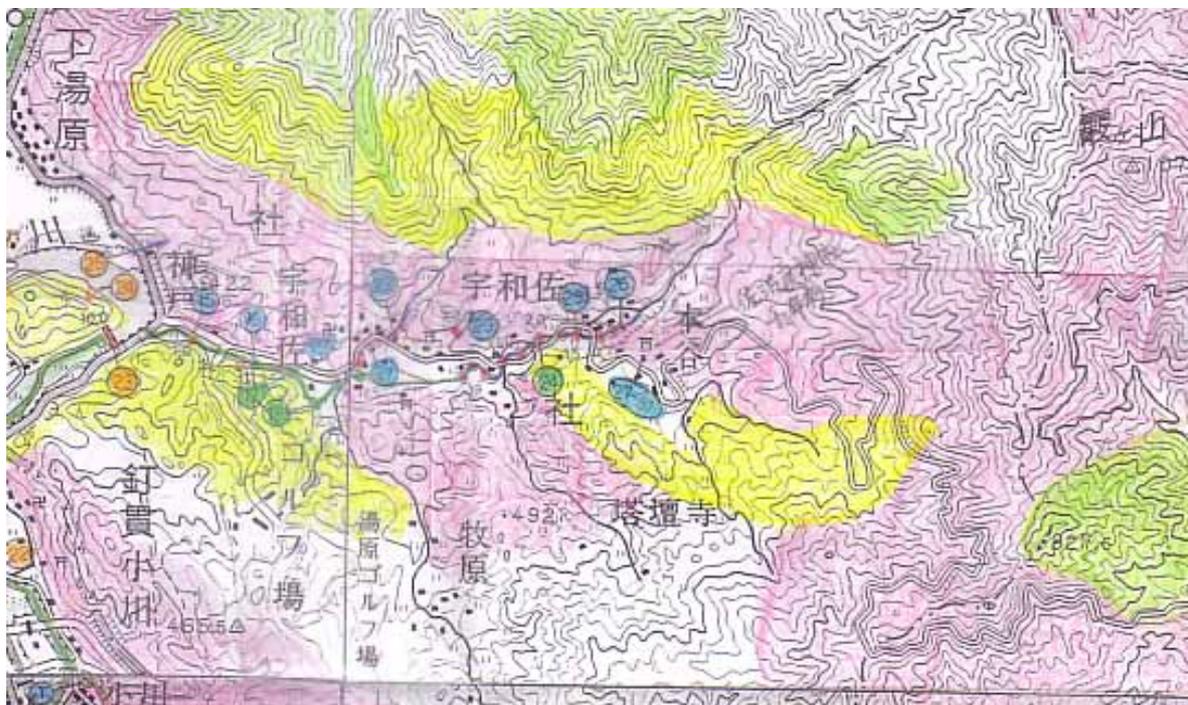


釘貫川	河道状況 (%) (延長 2,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	20 500m	40 1,000m	16 400m	24 600m	0	0	片岩類 花崗岩	植林 65%、混交 +自然林 35%、 風倒木あり、
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息	
	清水なるも護岸工が進み、浄化能力は低い		魚はほとんどいない 上流に小魚がいるかも知れない	米子道の工事で川に魚を見ず、上流に山椒魚のいる可能性は小さい		D	×	

- ・ 釘貫集落は JH の工事で河床に十字ブロックを入れた三面張りとなっている。
- ・ その下流域は頭首工と護岸で固められ、魚はほとんどみられない。
- ・ 上流域は花崗岩礫の堆積する自然状態の谷川であるが、流域は狭い。
- ・ 魚の住処としては D 級川である。

33. 社川

湯原町下湯原で旭川へ注ぐ、延長 2,5 km の支川である

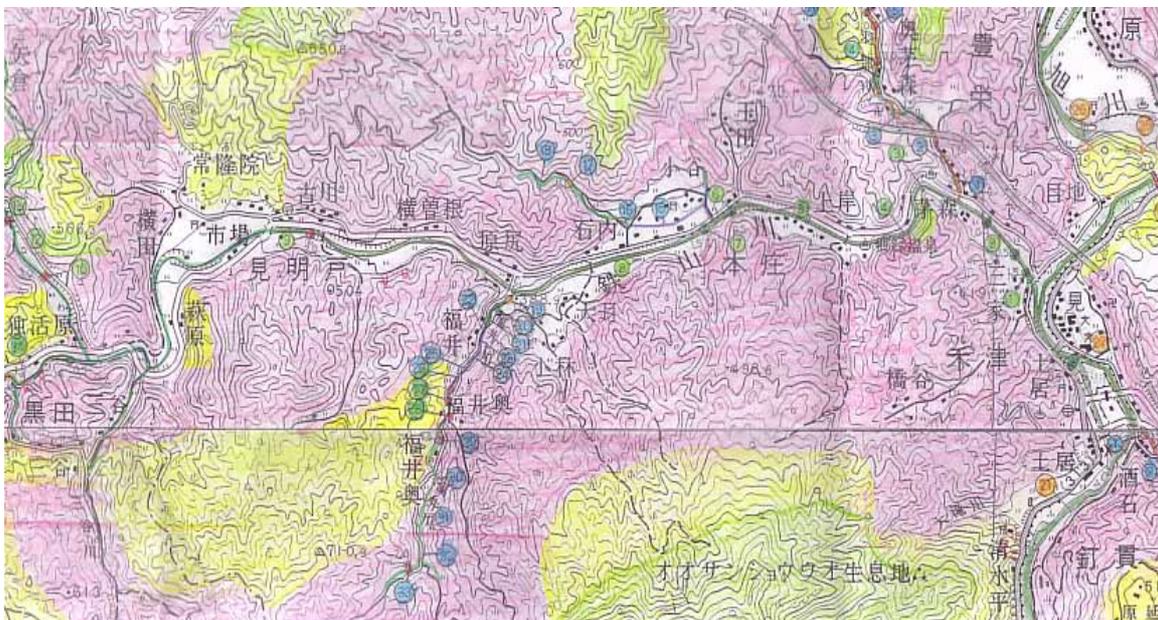


社	河 道 状 況 (%) (延長 2,500m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	0	52 1,300m	0	48 1,200m	0	多数	花崗岩	植林 50%、自然 +混交林 50%
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメソト			魚の生息環境	山椒魚の生息
川	中・下流域は三面張り、護岸工が進み、浄化能力は低い		生息場所がなく魚はいない	源流は未確認、中・下流に生息場所無し、魚の移動も不可			D	×

- ・ 下流域は護岸工と頭首工で固められ、魚影はほとんど見られない。
- ・ 中流域は三面張り + 段差工で魚の生息は不可能である。
- ・ 本川に魚はほとんどいない D 級川である。

34. 鉄山川下流域（見明戸以下）

湯原町禾津で旭川へ注ぐ、延長7kmの支川である

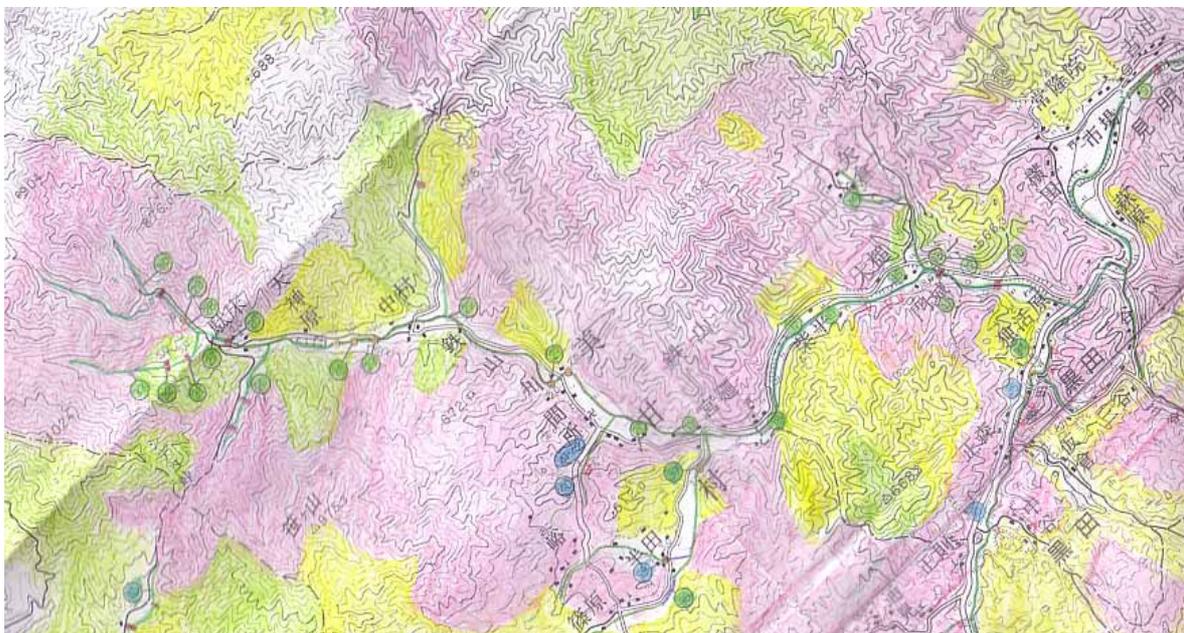


鉄 山 川	河 道 状 況（％） （延長 7,000m）				障 害 物 （ヶ 所）		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	21 1,500m	79 5,500m	0	0	0	1	花崗岩	植林 70%混交・ 自然林 30%、崩 壊少々
下 流 域	水質・川の浄化能力 等		水 中 生 物	コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息	
	礫川、一部露岩、清 水流れるが土砂流 出し易い。		カジカ・鮎・ヒラメ・ 山椒魚の生息が予想 される	護岸整備され、礫川で瀬と して流れる、清流であるが、 魚の生息環境は巾が狭い		B		

- ・ 見明戸から下流域は花崗岩礫主体の礫川で、一部露岩部あり。
- ・ 護岸の整備された河原と、瀬の流れを主体とする。
- ・ 見明戸にh = 2 mの堰堤があり、魚の遡上は困難である。
- ・ 清流であるが、マサ山と植林のため、降雨時には砂泥が流出し易いであろう。

35. 鉄山川上流域（見明戸以上）

鉄山川の見明戸より上流域で、延長 7 km の川である

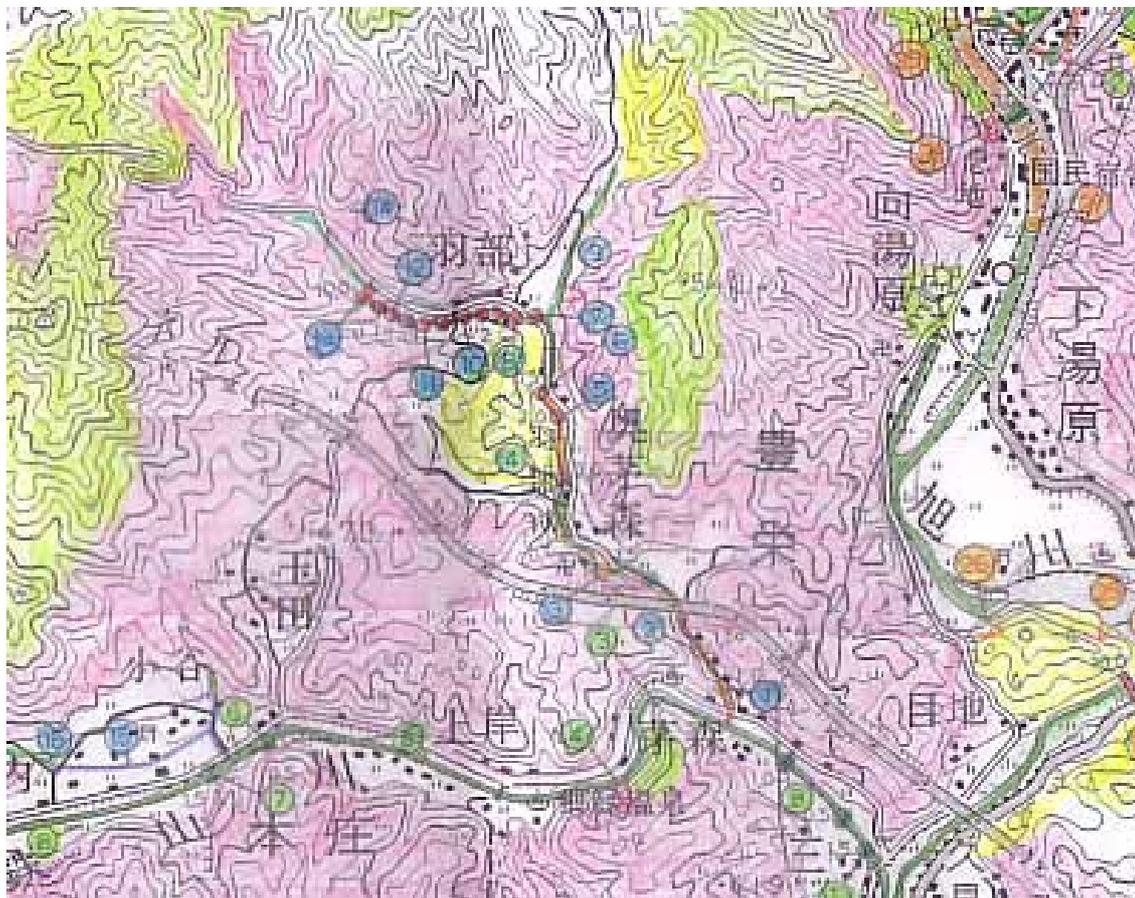


鉄 山 川	河 道 状 況 (%) (延長 7,000m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	50 3,500m	50 3,500m	0	0	7	3	花崗岩 片岩類	植林 70%、混 交・自然林 30%、 崩壊少々
上 流 域	水質・川の浄化能力 等		水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息
	渓流多く清水流 れる。降雨時土砂流出 し易い		自然豊かで同上の生物が いよう、昔に比べて魚・山 椒魚が減った		源流域にダム6ヶ、独活 原に1ヶ、自然豊かな清 流である		A	

- ・ 独活原（うどわら）周辺は花崗岩の露岩溪谷をなし、自然川である。
- ・ 全般に人家も河川構造物も少なく、自然豊かな清流で、魚と山椒魚の住処は多い。
- ・ 支川は自然河道なるも、上流域に砂防ダムあり。
- ・ 植林地が多く川の水質が変わったため、魚が居なくなったとの意見を多く聞く。
- ・ 自然林は土砂流出が少なく、清水で餌と栄養の豊かな水である。

36. 羽部川

鉄山川の支川で、湯原町豊栄を流れる延長 2,5 km の川である。

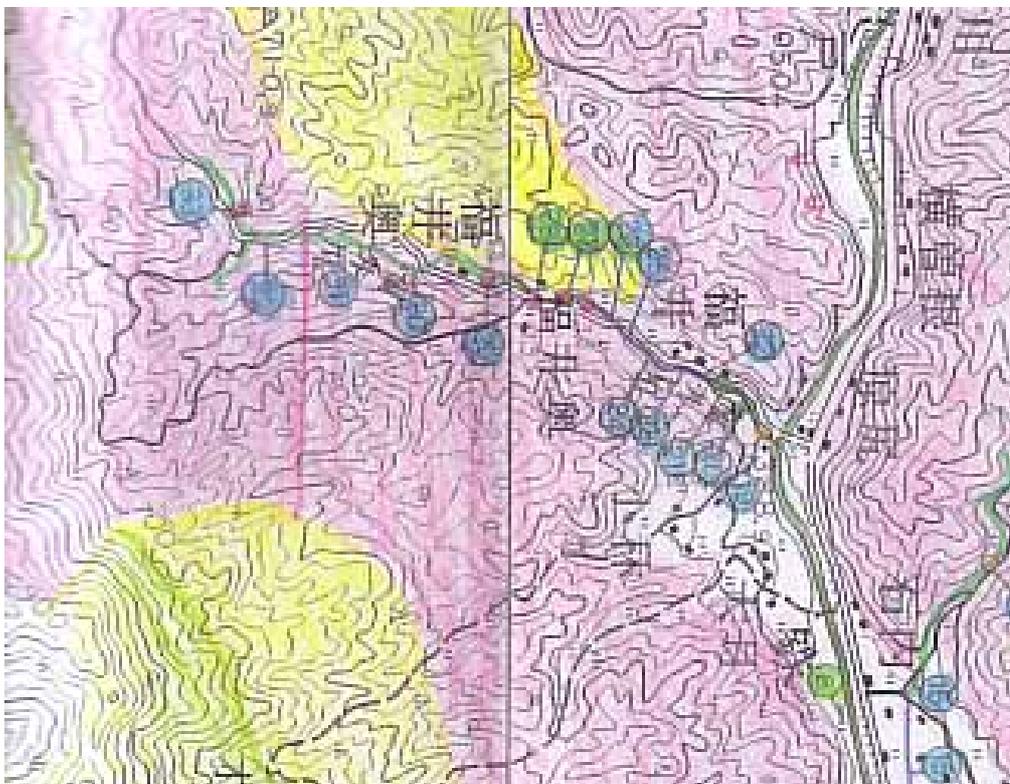


羽部川	河道状況 (%) (延長 2,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	8 200m	28 700m	32 800m	32 800m	1	多数	花崗岩	植林 80% 自然林 20% 土砂流出多
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント			魚の生息環境	山椒魚の生息
	急流河川で床固め・段差工著しく浄化能力は低い		生息場所が無く魚はいない	護岸・床固めにより魚の生息・移動は不可能、土砂の流出多い			D	×

- ・ 護岸工と頭首工、段差工で固められ、魚の移動・生息は不可能である。
- ・ 段差工が密に連続している。

37. 福井川

鉄山川の支川で、湯原町福井を流れる延長 1,9 km の川である。

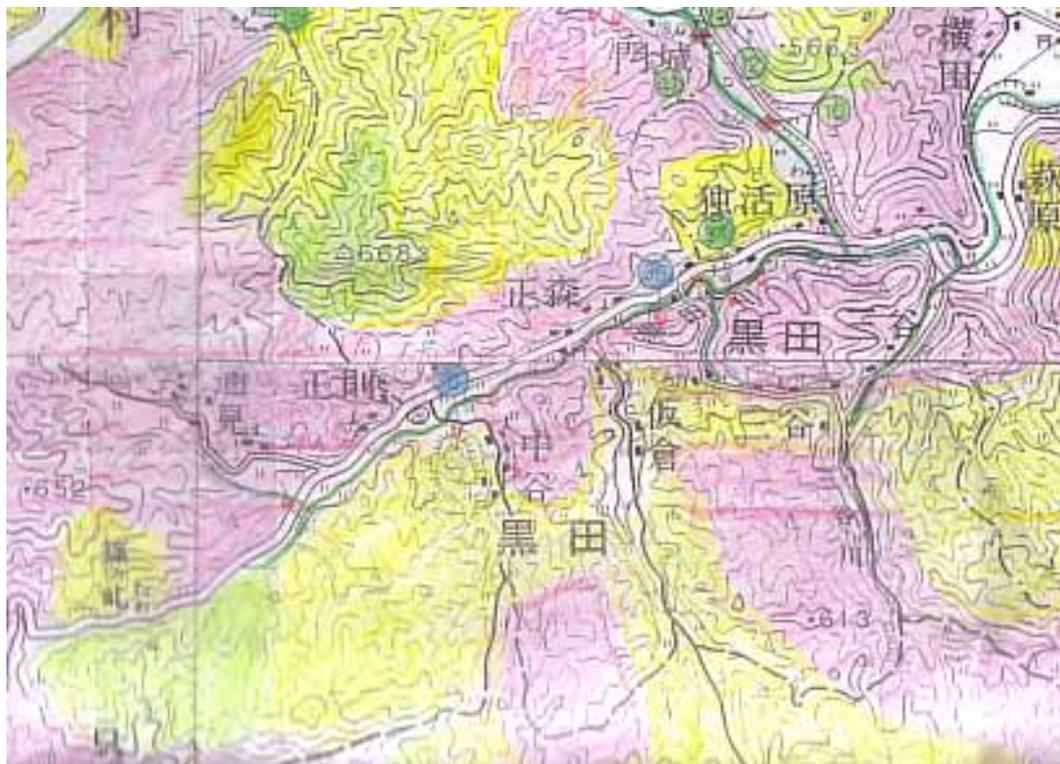


福井川	河道状況 (%) (延長 1,900m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生 ・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	58 1,100m	16 300m	0	26 500m	1	多数	花崗岩	植林70%混交林 30%土砂流出多
	水質・川の浄化能力等		水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息
	上流は自然の谷であるがマサ土が多い,下流は三面張りで浄化能力は無い		下流は三面張りで魚はいない,上流は小川で魚影見られず		上下流とも魚の生息場所無く、移動も不可能		D	×

- ・ 下流域は三面張りや段差工により、魚の移動・生息は不可能である。
- ・ 上流は自然状態で残るが段差工と砂防ダムがあり、魚の棲む生息域は狭く小川で魚はいない。魚の生息環境は厳しい。
- ・ ホタルの生息は減り,点々と見られるのみである。
- ・ 土砂の流出が多く、濁りやすい川である。

38. 黒田川

湯原町独活原で鉄山川へ合流する延長 2,5 k m の支川である。

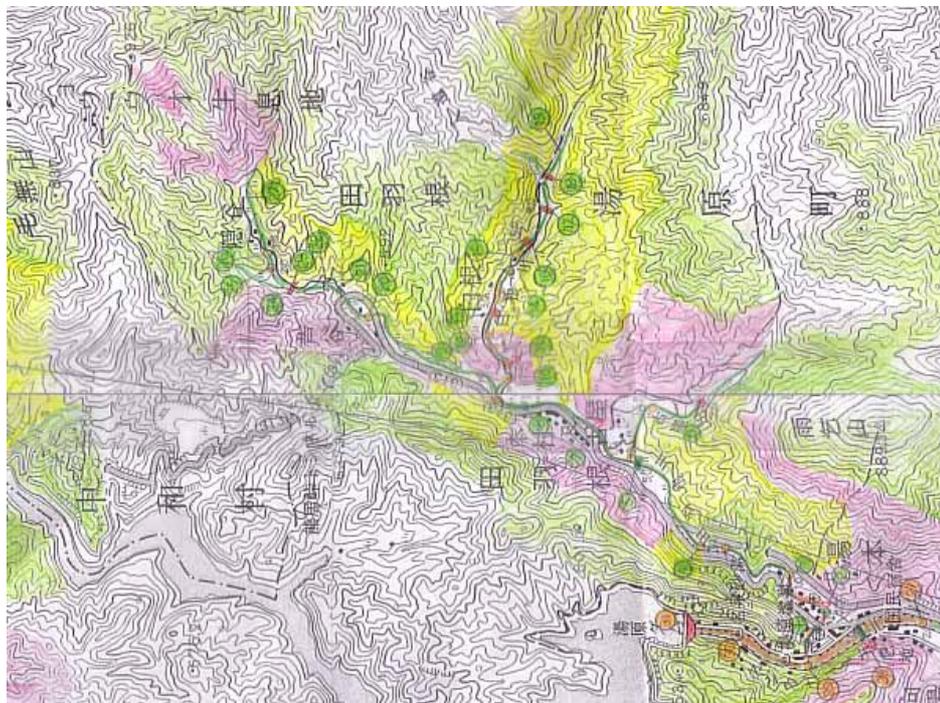


黒田川	河道状況 (%) (延長 2,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生 ・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	0	100 2,500m	0	0	0	0	花崗岩	植林 30% 混交林 70%
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント			魚の生息環境	山椒魚の生息
	マサ山のため砂泥が流出し濁り易い、浄化能力は普通		水草が自生し魚がいる	構造物少なく昔の川の姿を留める。魚は普通程度、山椒魚も期待できる			B	

- ・ 水田沿いは護岸となり、草の茂る小河川である。
- ・ マサ山で植林と混交林からなり、砂泥が流出しやすい。
- ・ 魚の大きな障害は無く、B級川である。

39. 田羽根川

湯原町湯本で旭川へ注ぐ、延長 4,5 km の支川である。



田 羽 根 川	河 道 状 況 (%) (延長 4,500m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	22 1,000m	67 3,000m	11 500m	0	1	0	花崗岩 片岩類	植林 25%混交林 25%自然林 50%
	水質・川の浄化能力 等		水 中 生 物	コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息	
	護岸整備されるが 礫川で清流。浄化能 力は普通		魚影はうすく山椒 魚の生息は期待薄	清流だが河川整備により、魚・ 山椒魚の住処は少なそうであ る		B		

- ・ 護岸整備するが魚道や穴開きブロックの使用などに配慮が見られる。清流であり、魚はいよう。
- ・ 支川の古屋川・白根川は床固め工と砂防ダムがあり、上流への魚の移動は断たれる。
- ・ 上流は転石・岩の分布する溪流で、清水が流れ山椒魚の住処はあるが、餌となる魚は少なそうである。
- ・ 湯原ダムからは整備された河川公園となっているが、水の流れは悪く水質は劣り、魚やカジカはいない。

40. 白根川

田羽根川の支川で延長 1,5 kmである。

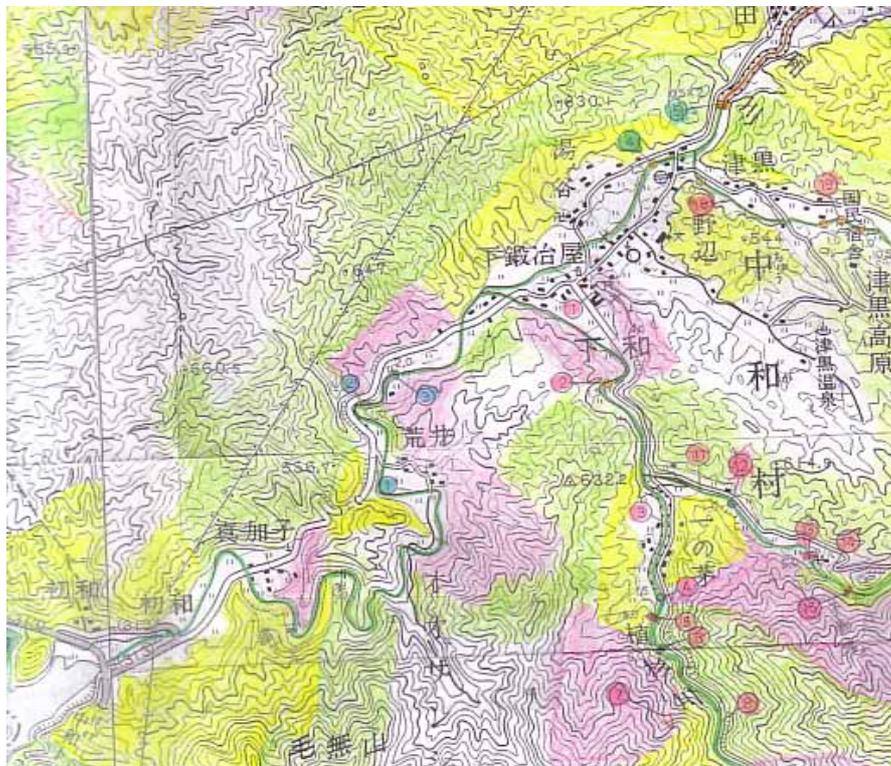


白 根 川	河 道 状 況 (%) (延長 1,500m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	47 700m	53 800m	0	0	3	1	花崗岩 片岩類	混交林 50%自然 林 50%、崩壊 1
	水質・川の浄化能力等	水 中 生 物			コ メ ン ト		魚の生息環境	山椒魚の生息
	岩・礫渓谷で清流、 浄化能力は普通	構造物で分断され魚の住 処は少ない、魚影を見ず			構造物で魚は移動できず 山椒魚も期待薄である		C	×

- ・ 支川の古屋川・白根川は床固め工と砂防ダムがあり,上流への魚の移動は断たれる。
- ・ 上流は転石・岩の分布する溪流で清水が流れ、山椒魚の住処はあるが、餌となる魚は少ない。

41. 下和川下流域（津黒以下）

中和村を流れ湯原ダムへ注ぐ旭川の支川である。

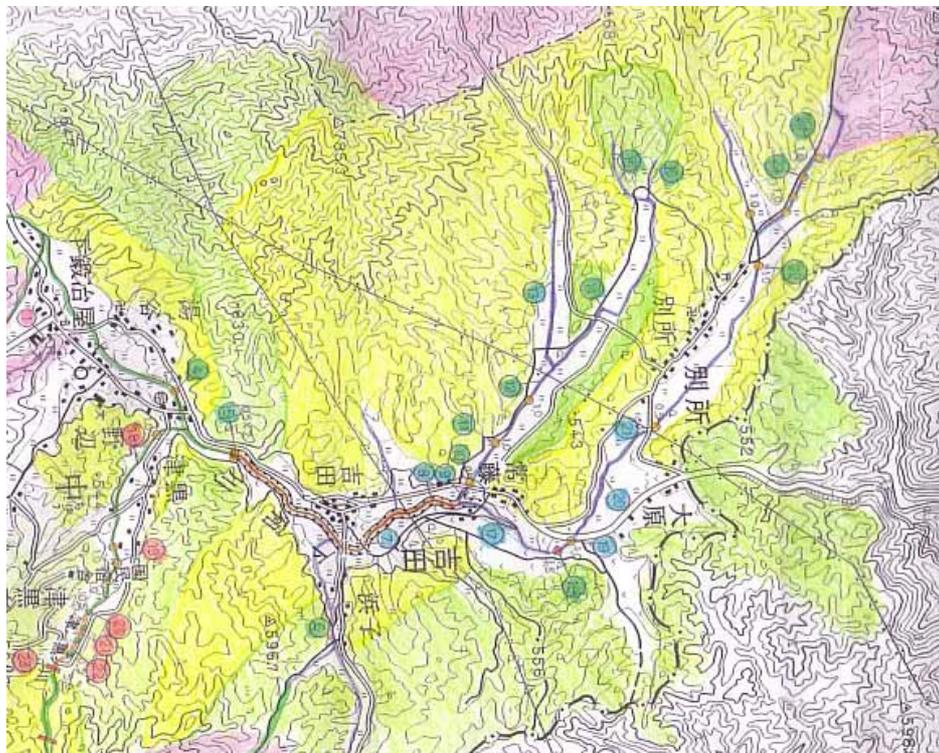


津黒川	河道状況 (%) (延長 5,000m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	30 1,500m	70 3,500m	0	0	0	0	花崗岩 片岩類	植林 + 混交林 40% 自然林 60%
	水質・川の浄化能力等	水中生物	コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息		
	山は渓谷で清流、平地は水田で礫川	渓谷に山椒魚生息の可能性あり、平地はハヤ・ウグイなど	山は自然溪流、平地は護岸工で川の流れは単調、魚の住処は少ない		B			

- ・ 自然林と混交林からなる。
- ・ 自然流あるいは水草自生で自然が残り清流河川であるが、下鍛冶屋は区画整備で人口度が高い。
- ・ 荒井から上流は、ハヤ・ウグイはいるが、山椒魚はいない。
- ・ 山椒魚は荒井より下流域にのみ生息する可能性が残る。

42. 下和川上流域（津黒以上）

中和村を流れ湯原ダムへ注ぐ旭川の支川で、津黒から源流まで。

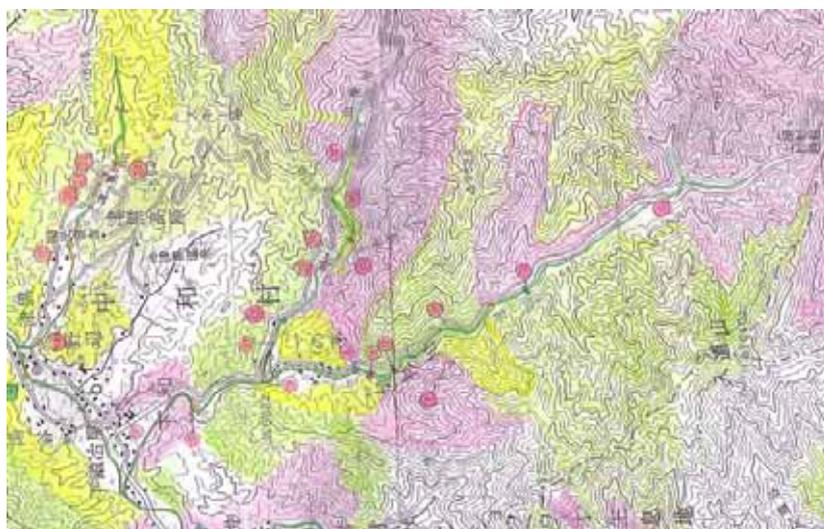


津	河道状況 (%) (延長 5,000m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生 ・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
黒	0	0	26 1,300m	74 3,700m	0	1	黒ボク、 ローム花 崗岩	自然林 50% 混交林 50%
川	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息	
	黒ボクのためやや濁った 清水、支川は全て三面張 り、浄化能力は無い		ハヤ少々、三面 張りで魚の住処 はない	区画整備した農地が広が る、水系は全て三面張り・ U字溝で魚はいない		D	×	

- ・ 水田は黒ボク、山地はローム/花崗岩が分布する。
- ・ 水田は整備され、全て三面張りまたはU字溝で魚の住処は無い。
- ・ 水はやや暗濁色で、黒ボク・マサ土が流出しやすい。
- ・ 山は自然林（赤松）・混交林で、杉・ひのきは20～30%程度である。
- ・ 魚の棲みにくい河川である。

43. 植杉川・山乗川

中和村を流れる下和川の支川で、延長 5 km と 2,5 km の溪流である。

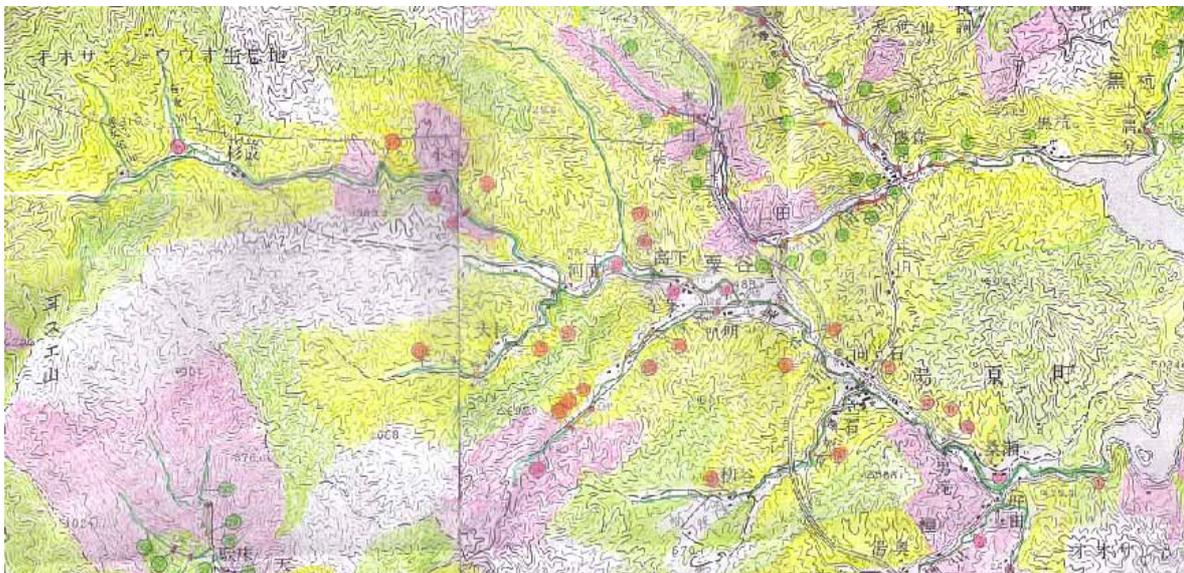


植杉川・山乗川	河道状況 (%) (延長 5,000m+2,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	60	40	0	0	0	0	花崗岩	植林 50%
	80	20	0	0	1	0	片岩類	自然林 50%
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント			魚の生息環境	山椒魚の生息
	自然の清流であるが、上流域は植林で土砂が流出し易い		ヒラメ・山椒魚の生息が予想される	植杉川に障害物ナシ、山乗川はダムと滝が各 1ヶ所あり。自然豊かな溪流である			A	

- ・ 植杉川の 3 基の砂防ダムは魚道新設および透過性ダムに改修しており、魚・山椒魚の移動は可能である。
- ・ 水系は自然豊かで花崗岩礫～露岩渓谷をなし、魚の住処も多い。
- ・ 上流域は植林地であるが、中・下流域は自然林が多い。
- ・ 清流でウグイ・ヒラメ・山椒魚の生息が予想される。
- ・ 山乗川は砂防ダムと不動滝で魚の移動は断たれる。
- ・ 不動滝より上流は溪流で自然豊かであるが、植林地が広がっており、砂泥流出と餌の貧弱さが予想される。
- ・ 津黒川は中流域を河川公園としており、ハヤ・ウグイが生息する。砂防ダムから上流は自然の河川と思われる。
- ・ 植林は少なく自然林・混交林が広がっており、昆虫類は豊かで、ヒラメ・山椒魚の生息が期待される。

44. 栗谷川

湯原町栗谷を流下して湯原ダムへ注ぐ、延長 9,5km の川である。

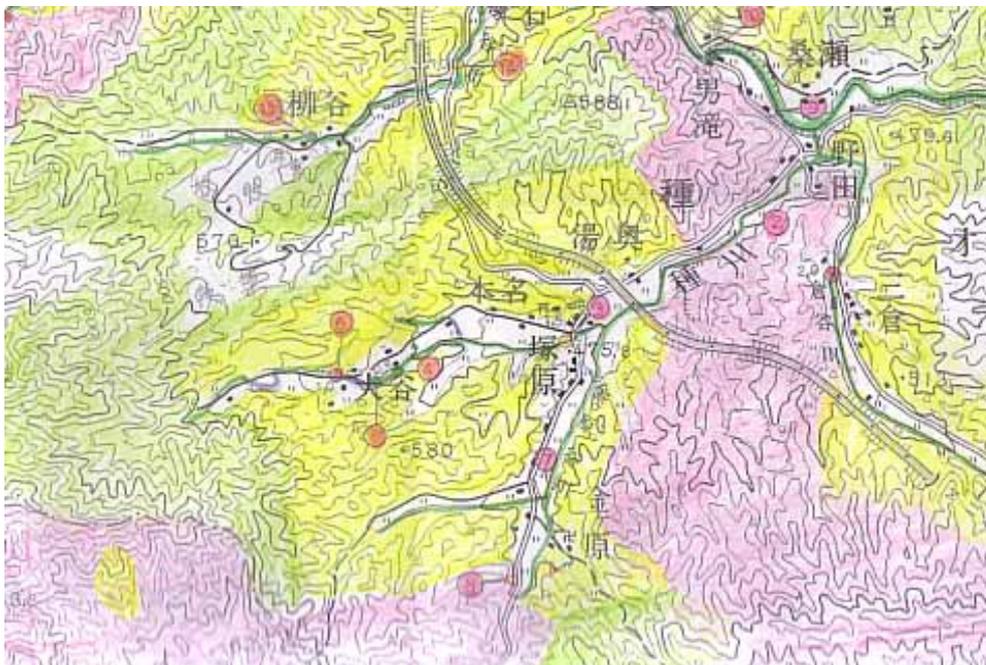


栗谷川	河道状況 (%) (延長 9,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生 ・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	68 6,500m	32 3,000m	0	0	1	0	花崗岩 片岩類	混交林 45% 自然林 45% 植林 10%
	水質・川の浄化能力等	水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息	
	岩・礫川で水草は少ないが清流である	S56年災までは大山椒魚・魚も多かった。復旧工事後、激減し今はあまり見ない		復旧工事後水草と住処および餌が減り魚も減った。魚はサギが食べてしまう		A		

- ・ 栗谷より下流は護岸工整備済。しかし、岩盤・レキ河川で清流である。
- ・ 大山椒魚は居るとのこと。ホタルも居る。しかし、魚の数は少ない。
- ・ 栗谷より上流は清流で自然豊かな河川である。
- ・ S56年災害まではホタル・大山椒魚が多数生息し、出水時は道路に上がって歩いていたが、災害復旧工以降激減し、最近はまったく見ない。
- ・ 夜ぼり(狩り)でも以前は多数いたが、最近はまったく見ないとのこと。
- ・ 魚もほとんどいない。ヒラメは放流時に少しいるのみ。
- ・ 自然豊かな清流であるが、水質が変化し、餌が減っているのかもしれない。

45. 栗谷川支川種川

栗谷川支川種川は桑瀬で栗谷川へ合流する延長 3km の川である。



種	河 道 状 況 (%) (延長 3,000m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	0	90 2,700m	0	10 300m	0	1	花崗岩 ローム	自然混交植林同 率、崩壊 2ヶ所
	水質・川の浄化 能力等		水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息
川	礫川で水草茂り 清水が流れる		ハヤ少々、住処は無く山 椒魚は居ないであろう		区画整備した農地が広がる、 川に魚の住処はほとんど無い		C	×

- ・ 水系は水田が開け護岸工が整備され、いずれも小川で魚の住処は少なく、魚影はハヤ少々である。
- ・ 山椒魚の住処となるようなところは無い。
- ・ S56年災害後の河川と農地整備時には山椒魚が多数生息していた。現在はホタル・山椒魚は見られない。
- ・ 河川と区画整備が進み、魚は棲みにくい川である。

46. 柳谷川・小茅川・大杉川

いずれも粟谷川の支川で、各河川長は2km前後である。

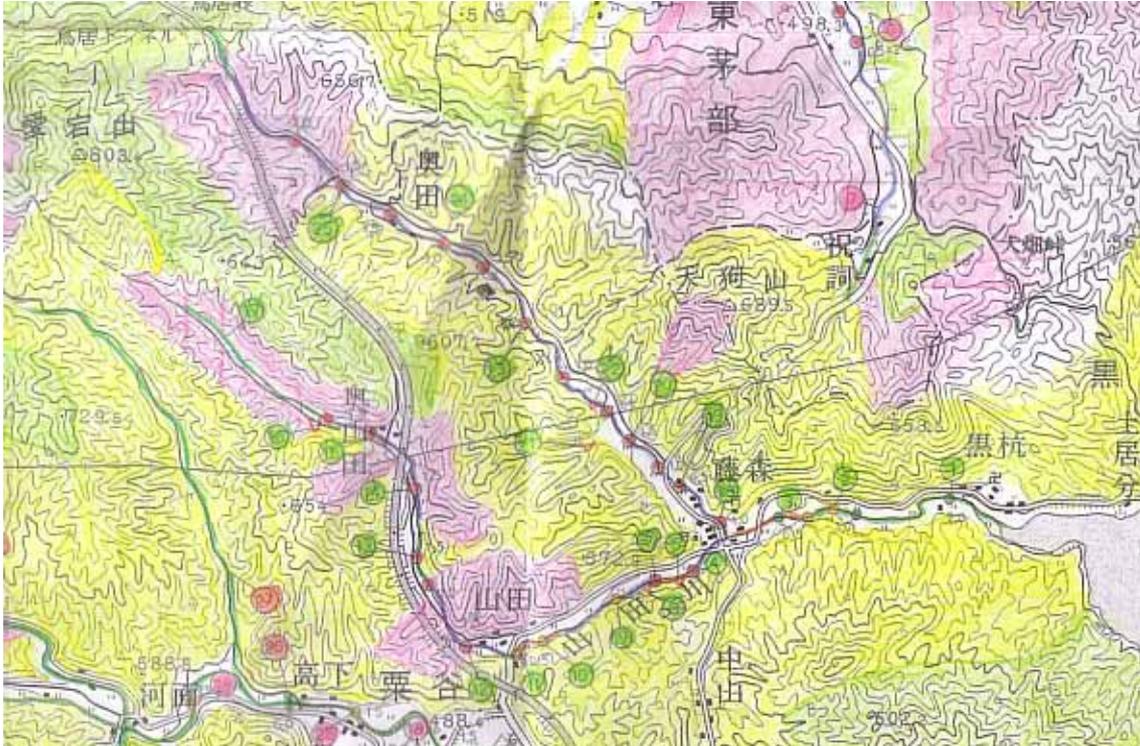


柳谷川・小茅川・大杉川	河道状況 (%) (延長 6,000m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	43 2,600m	57 3,400m	0	0	2	1	花崗岩	混交林 60% 自然・植林各 20%
	水質・川の浄化能力	水中生物		コメント		魚の生息環境	山椒魚の生息	
	柳谷川は牧畜汚水で魚がいなくなったが、3川とも清流である	ヒラメ・小魚がいるが山椒魚は2~3年前から見ない、魚の数も非常に少なくなった		S56年災害前は山椒魚も多数いたが、2~3年前から姿を見ない。魚も減ったとのこと		B		

- ・ 柳谷川・小茅川・大杉川は、いずれも清流であるが、ホタル・山椒魚は見ない。
- ・ 柳谷川は牧畜で汚水が流れていたが、現在はだいぶきれいになった。現在、ホタル・山椒魚はまったく見ない。魚もほとんど見ない。牛の臭いはかなりある。
- ・ 小茅川はヒラメ・大山椒魚が多数いたが、S56年災害の復旧工事後激減し、ここ2~3年大山椒魚を見ない。雑魚もいなくなった。上流に砂防ダムあり、その上流は小谷で魚は棲み難い。
- ・ 大杉谷は清流でヒラメ・ウグイが少々いるが白鷺が多くを食べる。山椒魚はいるかもしれないが、住処も餌も少なく、姿は見ないとのこと。
- ・ 三支川とも小谷で餌が少なく、住処もほとんど無いので、山椒魚の生息している可能性はかなり小さい。

47. 山田川・藤森川

湯原町山田・藤森を流下して湯原ダムへ流入する川で、河川長は合計 7,5km である。

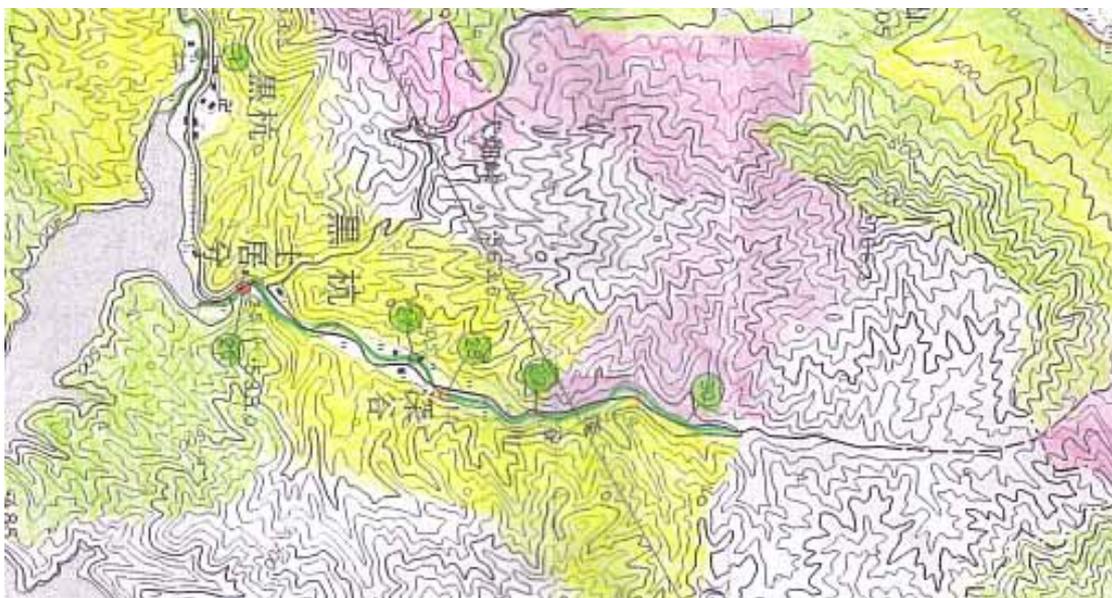


山田川・藤森川	河道状況 (%) (延長 7,500m)				障害物 (ヶ所)		地質	流域の植生・災害他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	9 700m	17 1,300m	12 900m	61 4,600m	0	20	花崗岩 片岩類	混交 50% 自然 30% 植林 20%
	水質・川の浄化能力等		水中生物	コメント			魚の生息環境	山椒魚の生息
	山林と荒地が多く清流が流れるが、川は三面張りで浄化能力は低い		下流域にハヤ少々、他には魚はいない	S56 年災害の復旧工事と区画整備で、魚も山椒魚も住めない川となった			D	×

- ・ 両河川ともに三面張りや護岸工で固められ、水草の生育も魚の生息も不可能である。
- ・ 最上流の小川のみ自然状態であるが、水は少なく、魚はほとんど棲めない。
- ・ 人工改変の著しい河川であるが、流域の農地は荒地が多く、自然に帰つつある。

48. 深谷川

湯原町黒杭を流下して湯原ダムへ流入する延長 2,5 km の川である。



深 谷 川	河 道 状 況 (%) (延長 2,500m)				障 害 物 (ケ 所)		地 質	流 域 の 植 生 ・ 災 害 他
	自然状態	水草自生	護岸固め	三面張り	ダム	頭首工		
	100 2,500m	0	0	0	0	1	花崗岩	混交林 植林
	水質・川の浄 化能力等	水 中 生 物		コ メ ン ト		魚の生 息環境	山椒魚 の生息	
	岩・礫分布の 自然川で清流 である	大山椒魚・ヒラメ・赤モ ツ・ホタル生息、ウナギ・ ドジョウはいなくなった		自然渓流で山椒魚はかるうじ で生息するが、植林が広がり 魚とその餌は少なそうである		A		

- ・ 小川であるがよく自然状態を留めた小川である。
- ・ 山椒魚・ヒラメ・ドロバイ・ホタルなどはいる。
- ・ ウナギ・赤ペラ（ナマズの小型で赤いやつ）・赤モツ・ドジョウなどはいなくなったとのこと。
- ・ 数年前、頭首工基礎の隙間に山椒魚の卵があり、学校の先生が卵化しようとしたが失敗した。
- ・ 昔は出水時、山椒魚が道を歩いているのをよくみかけた。
- ・ 上流は植林地が広がる。
- ・ 川は A、山林は B、魚の住環境は A～B 級である。

